

報道関係者 各位

きのこによる食中毒の発生について

【概要】

令和5年10月25日(水)、山形市内の医療機関から村山保健所に、きのこの誤食による食中毒疑いの患者が受診している旨の連絡がありました。村山保健所で調査した結果、クサウラベニタケを誤って食べたことによる食中毒と断定しました。

なお、患者らは快方に向かっています。

1 調査結果

患者は、10月23日(月)に東根市内の山できのこを採取し、24日(火)午後6時頃に芋煮に入れて食べたところ、午後8時頃から嘔吐、下痢等の症状を示した。

村山保健所において、残っていたきのこを確認したところ、クサウラベニタケであったことが判明した。

発生日時	令和5年10月24日(火)午後8時		
患者数	2名：70代男性、60代女性	患者住所	天童市
摂食者数	2名	受診者数	1名
		入院患者	0名
症状	吐き気、おう吐、下痢		
原因食品	クサウラベニタケが入った芋煮		
病因物質	植物性自然毒(クサウラベニタケ)		

2 措置

村山保健所では、発症状況がクサウラベニタケによるものと一致すること、きのこの残品がクサウラベニタケであったことを確認したことから、クサウラベニタケを原因とする食中毒と断定し、患者らの自宅に残っているきのこの廃棄ときのこ食中毒に関する啓発を行った。

県民の皆様へ <毒きのこによる食中毒を起こさないための注意事項>

- 知らないきのこや不安を感じるきのこは、採取しないようにしましょう。
- 食べられるきのこに似た毒きのこが混ざって生えていることがありますので、十分注意して採りましょう。
- 調理する前に、もう一度確認しましょう。
- 安易に譲り渡したり、譲り受けたりしないようにしましょう。
- きのこを食べてしびれ、吐き気などの中毒症状を起こしたら、速やかに医療機関を受診しましょう。残品がある場合は、持参しましょう。

令和5年食中毒発生状況(今回を含む)		
食中毒発生状況	9件	147名
昨年同期	9件	11名
昨年計	9件	11名

問合せ

防災くらし安心部 食品安全衛生課
食品・営業衛生主幹 大貫典子 023-630-2567
[報道監] 防災くらし安心部次長 柴崎 渉

有毒きのこによる食中毒発生状況について

令和 5 年 10 月 26 日現在
(本事案含む)

1 発生状況

年次		25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5
件数	県全体	6	5	6	7	2	2	1	4	0	0	2
	(うち山形市)								2	-	-	
患者数	県全体	20	14	10	18	8	7	3	8	0	0	6
	(うち山形市)								3	-	-	
死者数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 種類別

() は山形市の内数

年次		25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5
ツキヨタケ	事件数	6	4	3	7	1	1	1	2(1)	-	-	1
	患者数	20	13	7	18	2	5	3	5(1)	-	-	4
クサウラベニタケ	事件数	-	-	2	-	1	-	-	1	-	-	1
	患者数	-	-	2	-	6	-	-	1	-	-	2
カキシメジ	事件数	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	
	患者数	-	-	-	-	-	-	-	2(2)	-	-	
その他	事件数	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	
	患者数	-	1	1	-	-	2	-	-	-	-	

ハイロシメジ

ドクササコ

テングタケ

【クサウラベニタケ】



提供 山形県衛生研究所

- 雑木林やマツの混在する林内に、点々と生えるまたは群生する。
- 傘は薄いねずみ色、淡黄灰色、茶色のものである。絹糸状の光沢が特徴。
- 茎は細長く、中空のためもろく折れやすい。
(なかには太く中空でないものもある。)

〈中毒症状〉

摂食後 10 分～数時間で腹痛、吐き気、おう吐、下痢などを起こす。